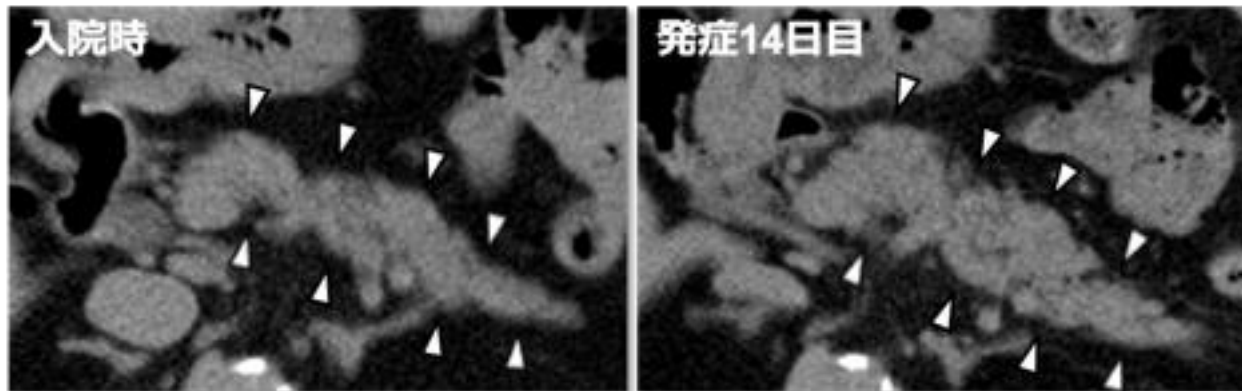


【論文タイトル】

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に関連した急性膵炎

【概要】

COVID-19の治療は確立されていないが、ステロイド（デキサメタゾン 6mg/日）やレムデシビルが効果的と考えられている。70歳代女性のCOVID-19肺炎（中等症 II）において、デキサメタゾン・レムデシビルの治療後、発症14日目（入院9日目）に左上腹部痛が出現し、血液検査で膵酵素の上昇・腹部単純CTで膵腫大を認めた（下図）。急性膵炎と診断、絶食補液で経過良好となった。既報では、SARS-CoV-2・ステロイド・レムデシビルのいずれもが膵炎発症のリスクとなりうる可能性が示唆されている。COVID-19関連膵炎の発症は頻度は少ないが、COVID-19の治療中に発症した腹痛には急性膵炎を念頭に精査すべきであると考えられた。



Yamamoto K, Oka K, Sakae H, Otsuka F. Acute Pancreatitis Related to COVID-19 Infection.
***Intern Med.* 2021;60(13):2159-2160.**